

平成26年度 学校評価実施報告書

(別添様式3)

3 2回目評価

・重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 ・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定					・アンケート実施結果、その他指標の結果について整理	自己評価	学校関係者評価			
分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果	分析(成果と課題)	自己評価に対する改善策	評価日	評価者・組織	評価日	評価者(いずれかに○)
1 遊びの充実	遊びへの意欲・充実感について(年長)	子どもの実態や課題、育てたい姿を考慮したうえでの保育内容の設定・実施・環境構成・援助。	年長組…子どもは自分のめあてをもって幼稚園で遊びを楽しんでいるか	そう思う・大体そう思う、の回答が計95. 5%	⇒	年長組…「めあてをもつ」ということは高度なことである。「大体」という回答が多かったのは、判断が難しい面があったのではないか。年少組…子どもたちが安定して園生活を送っていると保護者の方も感じているようだ。	更なる生活の充実をはかり、子どもたちがめあてをもてる生活を展開していく。子どもたちの遊びの充実、生活の中で大切にしたいことについて保護者へ密な発信を心がけてていきたい。	⇒	子どもたちが概ね安定して幼稚園での生活を送っていることは喜ばしい。	子どもたちの生活の充実のために、行事等で協力できることは、これからも協力していきたい。
	心の安定・自己充実について(年少)		年少組…子どもはありのままの姿を出して幼稚園で遊びを楽しんでいるか	そう思う・大体そう思う、の回答が計96. 9%						
2 豊かな心	集団への意識、協働性について(年長)	集団での活動の意図的な組み込み。異年齢ペア活動や、当番活動などの実施	年長組…集団と自分を意識して遊んでいるか	そう思う、大体そう思うの回答が100%	⇒	すべての保護者が、友達とのつながり、集団を感じるということに関して理解をしてくださっているものと思われる。	これからも個に応じた人のつながりに向けての援助を丁寧に重ねていく。また、集団の中で生活することのねうち、育っている姿をより丁寧に発信していく。	⇒	集団の中で生活することのできる良さをこれからも生かして生活を重ねてほしい。	地域の一員として、地域の子どもや保護者を一緒に支えていく姿勢を大切にていきたい。
	友だちへの意識、一緒に遊ぶことへの喜び(年少)	子どもたちの遊びの姿から人とのかかわりの様子を把握、援助していく。	年少組…子どもは学級の友達と遊ぶことを楽しんでいるか	そう思う、大体そう思うの回答が100%						
3 子育て支援	生活習慣の確立に向けての働きかけ	個の生活習慣の確立の実態を把握するとともに、日々の生活の中で援助。	お家の人は生活習慣の確立や自立に向けて意識しながらかかわっているか	年長組そう思う、大体そう思う、が97. 7%、年少組は93. 7%	⇒	保護者が、生活習慣の確立を目指して取り組んでいる姿が感じられる。	それぞれの生活習慣の確立に向けて、保護者との連携を密にすることの大切さを感じる。送り迎えの機会を生かしていきたい。	⇒	園の教職員のチームワークを感じる。園が一丸となって取り組む姿勢をこれからも大切にしてほしい。	地域の一員として、地域の子どもや保護者を一緒に支えていく姿勢を大切にていきたい。
	園内の教職員の支援について	子どもの姿、課題について全教職員で共通理解し全員が思いを一にしてかかわる	お家の人は、子どもが担任以外の教職員にもサポートしてもらっていると感じるか	年長組…「めあてをもつ」ということは高度なことである。「大体」という回答が多かったのは、判断が難しい面があったのではないか。年少組…子どもたちが安定して園生活を送っていると保護者の方も感じているようだ。						
4 連携交流・発信説明	近隣の学校との交流について	小学校と給食交流・授業での交流(年長)中学校授業交流チャレンジ体験の交流	幼稚園は小学校や中学校との連携や交流を図っていると感じるか。	年長組がそう思う、大体そう思うの回答が計97. 2%年少は計96%	⇒	年長組は小学校との交流があつた分、数値的に高い結果となった。他校種だけではなく、園内の異年齢の子ども同士のかかわりを密にしてほしいとの意見有。おたよりやホームページの発信については、発行時期、内容について個別の意見をいただいた。	小学校との連携の在り方、中学校との連携の際の密な相談などについて検討していく。また、園内の異年齢児交流については、今年度の成果を生かし、より良いものになるよう検討していきたい。発信の仕方については、多様な保護者の生活に合ったやり方を探していく。	⇒	交流が行われていることは喜ばしい。小学校との交流は年長のみとなっているが、隣り合う学校とより密な交流ができるようあり方を検討してはどうか。	地域の一員として、地域の子どもや保護者を一緒に支えていく姿勢を大切にていきたい。
	園の情報発信、保護者との連携について	月一度のお便り発行(子どもの姿を伝える)日々の保護者への話。HPの発信	園は教育方針や子どもの様子をわかりやすく伝えていると感じるか	年長組がそう思う、大体そう思うの回答が計93%年少は計97%						

4 総括・次年度の課題

保護者の方の、園での子どもたちの育ちについての捉えは、適合度としては高いと感じる。園での生活や、園が大切にしたいことを理解して通わせてくださっている。子どもの育ちがよりしっかりと伝わり、より育ちを実感してもらえるためには、更なる保育の充実にむけて、園の教職員が一丸となって取り組むこと、より的確な発信にむけて努力することが大切と感じる。また、連携や交流・発信について、個別の意見の中には、更なる充実を望むもの、より知りたい情報などについて書かれていた。発信しているものの中から、足りないものについては、次年度丁寧な発信を心がけたい。